

令和4年度(2022)年度 学校評価結果報告書(自己評価)

「A」(十分である)、「B」(おおむね良い)、「C」(やや不十分である)、「D」(不十分であ

領域	対象	評価項目	評価の観点	A	B	C	D	評価のための参考資料	改善策・向上策
教育活動	進路指導	ア 生徒自らが行う自己実現のための学習活動への支援	HR、授業、面接等において生徒の進路意識を深め、生徒自らが自己実現に向けた学習活動を継続する指導ができたか。	32.2%	57.1%	10.7%	0.0%	授業アンケート(7月・12月に実施)の結果 学校評価アンケート(12月実施)の結果	各学年において、模試の結果等をもとに弱点克服キャンペーンなどに取り組んだ。自宅での学習時間を捻出できにくい状況を打開する方策を検討していく必要がある。
		イ 進学情報の活用と授業・補習の充実	必要な進学情報を適切に生徒に提供できたか。情報を分析・共有し、授業や補習で弱点克服などに生かされたか。	33.3%	66.6%	0.0%	0.0%	学年会・教科会での検討と改善策の実施。	年2回の進路研修会で受験結果等を共有し、進路指導や教科指導に役立てることができた。これまでの補習や梶の葉セミナーのあり方を検討する必要がある。
		ウ 進路決定に向けたキャリア教育の充実	学習、班活動、行事等の学校生活全般を体系づけ、進路実現の支援ができたか。	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	学年会・教科会での検討と改善策の実施。	班活動や行事などの学校生活全般を進路実現に関連付けていくことは難しかったが、探究活動がよききっかけになっていたので引き続き学習指導委員会と連携して実現していきたい。
	学習指導	エ 授業アンケートの実施とその分析結果の共有と活用	授業アンケートを実施し、学年会・教科会等で検討がなされたか。また、その分析結果が授業に活かされたか。	29.0%	57.0%	0.0%	14.0%	学年会・教科会での検討と改善策の実施。	7月・12月に授業アンケートを実施した。12月の結果では多くの教科で授業に対する評価及び生徒自身の取組の姿勢が向上になったので、継続していく必要がある。
		オ 生徒の家庭学習時間の確保	生徒が進路実現に向けて、自ら学び向上できるような指導の工夫ができたか。	14.0%	71.0%	0.0%	14.0%	授業アンケート(7月・12月に実施)の結果	平日の授業以外の学習時間が概ね週に14時間以上確保することが目標であったが、目標値には達しなかった。対策が必要である。
		カ 教科指導力向上の取り組み	相互の授業参観などの教科内での研修を通して、授業の改善に向けた活動ができたか。	29.0%	57.0%	0.0%	14.0%	学年会・教科会での検討と改善策の実施。	「学年主導」の部分と「学習探究主導」の部分との関係を明瞭化し、進路係と連携して取り組んでいく必要がある。
	生徒指導	キ 規範意識の向上	学校生活全般において、規範意識の向上をはかる指導ができたか。	0.0%	83.0%	17.0%	0.0%	生活実態アンケート(10月に実施)の結果 学校評価アンケート(12月実施)の結果	乗車マナー、タブレット使用方法で不適切な行動が見られた。それぞれの場面で指導を学校全体で行っていく必要がある。
		ク 人権尊重の意識の向上	講演会を行うことや、カウンセリングの機会を確保することによりいじめ等のない安心・安全な学校づくりを進めることができたか。	43.0%	57.0%	0.0%	0.0%	学年会・教科会での検討と改善策の実施。	係からの便りにより人権感覚や命の大切さについて考えを深めさせることができた。特にSOSの出し方教育により、普段声に出せない生徒の声を拾い指導に繋げることができたので、継続していきたい。
	生徒会活動	ケ 実りある生徒会活動への支援	計画的・自主的な生徒会活動への支援ができたか。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	各行事後のアンケートの結果	生徒・職員双方で各係会を定期的に開催し、十分な意思疎通ができ、活発な活動ができた。さらに活動の幅を広げられるよう支援していく必要がある。
		コ 実りある班活動への支援	計画的・自主的な班活動への支援ができたか。	15.0%	70.0%	15.0%	0.0%	各行事後のアンケートの結果	各班がそれぞれの計画に沿って活動することができた。顧問の情報共有、班活同士の共通の目標があるとなお良い。更に満足感を高められるよう支援していく必要がある。
学校運営	家庭・地域・社会との連携	サ 地域・家庭との協力関係の強化	校外での教育活動の情報、地域住民・保護者の参加できる学校行事の情報を十分に発信できたか。「PTA」への保護者・職員の積極的な参加があったか。					(総会・学年PTA・学級PTA・PTA行事への参加状況、生徒会・班活動等による地域活動へ参加状況などから)	行事を実施できなかったため、評価できない。学校ホームページを充実させ、積極的に情報発信を行う。
		シ 体験入学等での情報発信	本校の目指す学校像や育てたい生徒像などの受け入れ方針(アドミッションポリシー)等の情報を、中学校や中学生及びその保護者が十分満足できるような形で発信できたか。体験入学での体験授業のアンケート結果における、肯定的な回答の割合を参考にしている。	66.0%	33.0%	0.0%	0.0%	体験入学のアンケート結果	昨年よりは向上してきている。さらに学校ホームページを充実させ、積極的に情報発信を行う。